



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 1 0

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

(田中作次会長)

例 会 記 録(中尾ガバナー公式訪問):砺波 RC と合同例会

会長・幹事懇談会 (2 RC 合同)

出席者: 本江会長・御旅屋幹事・渡邊会長エレクト (砺波 RC)。河合会長・上田幹事・水島会長エレクト (東となみ RC)

第 1 6 3 6 回例会

平成 2 4 年 9 月 3 日(月) 「ふかまつ」(砺波市)

(司会) 高原砺波 RC SAA

1. 開会点鐘: 本江 砺波 RC 会長
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング: 我等の生業



4. 四つのテスト唱和: 三谷貴志夫東となみ RC 職業奉仕委員長
5. 会長の時間: ① (本江会長)「ガバナー公式訪問にあたり、まだ年度が始まって日が浅く、何もしていません。しかし、ようやく、防犯カメラ設置について承認され、当クラブとして動きだします。先程の会長幹事懇談会では、2 RC 合同で、中尾ガバナーからしっかり指導を承りました。今回、公式訪問に際して、初め

ての 2 クラブ合同例会を持つことができ嬉しく思い、歓迎の挨拶とします。」



② (河合会長)「砺波 RC の隅々まで行き届いた会場を借りての合同例会、準備された皆様に感謝申し上げ

ます。私も、20人以上のロータリアンの前で挨拶はしたことがなく、今回こういう機会を大変光栄に思います。先程、会長幹事懇談会で、中尾ガバナーは、30年以上も前に、山林への農薬散布に反対したら、代案を出せと言われ、草刈十字軍の鎌を全部寄付したという話を聞きました。大変感動しました。私は造園業をしておりますが、柿の木に『シナンタロー』という刺し虫が付いたら農薬を撒きます。しかし、そのおかげで、赤トンボやアシナガバチがいなくなりました。柿と刺し虫は共生をしていたのですが、私たち人間が生き物の敵になっていました。ガバナーの話でその事が知らされました。」

6. ゲスト紹介（河合会長）：

- * 中尾哲雄 ガバナー（富山西 RC）
- * 小西勝 富山第3分区ガバナー補佐（東となみ RC）
- * 奥野博之 地区幹事（富山西 RC）
- * 宮本良樹 地区筆頭副幹事/ロータリーを考える委員会担当（富山西 RC）

7. 幹事報告・委員会報告：次週例会にて。

8. 委員会報告：①出席委員会：本日東となみ RC 会員 20 名中 15 名出席（75.00%）



9. 卓話：中尾哲雄ガバナー（富山西 RC）…内容は後述。

10. 閉会点鐘：河合 東となみ RC 会長



懇親会 （司会）林 砺波 RC 親睦活動委員長

11. 開会の挨拶：本江 砺波 RC 会長「私たちは、I Love となみを謳い文句に活動をしています。震災で故郷に帰れない人々が大勢おられます。それを考えると我々は本当に幸せです。これからも頑張っていきましょう。」

12. ガバナー挨拶：中尾哲雄ガバナー「I Love 故郷、ホントに素晴らしいことです。今、東京の若者は故郷がない、根っこがない人が多い、つまり根拠、心のよりどころがないのです。故郷という心の居場所を持っていることが大事です。」



13. 乾杯の挨拶：小西勝富山第3分区ガバナー補佐「さすが砺波 RC です。ガバナーの好み通り乾杯は、若鶴の『玄』。ガバナーの卓話も終わり、これから懇親会ですが、公式(硬式)から軟式に移りましょう。中尾ガバナーは童謡『故郷』が好きだと言われます。後ほどのコンサートが楽しみです。ところで、『故郷』は、同じく童謡の『春の小川』や『朧月夜』と同じく、高野辰之作詞・岡野貞一作曲と言われていますが、実はロータリーソング『我等の生業』もこの二人の作詞作曲です。さて、突然ですが、我が東となみ RC はこの4月より、井波庄川 RC より名称変更いたしました。バナーも新しくしましたが、この場で、バナーの作成者の横山豊介先生から、謂れを話してもらい中尾ガバナーに横山先生より、バナーをプレゼントしたいと思います。」・・・この後、横山豊介会員より、中尾哲雄ガバナーにバナーの贈呈あり。



1 4. 歓談

- 1 5. ミニコンサート：声楽・西浦由佳里さん、ピアノ奏者・山辺裕子さん。「故郷」はじめ秋のメドレー（声楽）、「見上げてショパン？夜の星を」（ピアノ）、「川の流れるように」（声楽）



中尾哲雄ガバナー「故郷」独唱

- 1 6. ニコニコBOX(①砺波 RC 分・ガバナー他ゲスト分：五島砺波 RC 副 SAA 発表。②東となみ RC 分のみ、中島 SAA が発表：本日 9 名 15000 円)

河合会長：大勢のロータリアンを前に話をさせて頂き、光栄です。

小西ガバナー補佐：ガバナーのお供ですが、ようこそ。今宵はゆっくりお楽しみください。

横山豊介会員：中尾ガバナー公式訪問を大歓迎します。

高瀬会員：中尾ガバナー公式訪問を楽しみにしてきました。また、我がクラブの小西ガバナー補佐の晴れ舞台、今宵は有意義な時間を過ごさせてもらいたいと思います。

三角会員：中尾ガバナー様、公式訪問有難うございます。

今後共ご指導のほどよろしくお願い致します。砺波 RC 様本日のお世話ありがとうございます。

上田会員：中尾ガバナー、奥野地区幹事、宮本地区筆頭副幹事、ようこそ。砺波 RC の皆さん、こんにちは。砺波と東となみの合同正式訪問、最後まで宜しくお願いします。

山本会員：中尾ガバナー公式訪問、砺波・東となみの合同例会にようこそ、よろしくご指導をお願いします。

岩崎会員：「テンタカク」の靱すり終了しました。昨年よりは若干数量増でした。

中島会員：中尾ガバナーようこそ。砺波 RC の皆様、合同例会・懇親会、お世話ありがとうございます。



- 1 7. 閉会の挨拶：三角信行東となみ RC 副会長「今日は、砺波 RC と東となみ RC と合同で中尾ガバナーをお迎え出来ました。中尾ガバナーの話にもありましたが、このロータリーの中にはどうしてもうまくいかないことがあります。会員増を目標に入会者を募っても、なかなか入る人がいません。会費の問題、例会日の問題、例会時間の問題、いろんな事があります。入会対象者に要望があれば、それに柔軟な姿勢で対応するのも必要でないかと思われます。私個人の考えを言わせてもらったが、ガバナーも Change ということを言われており、含みおきいただきたい。今日のこの合同例会をお世話いただいた、砺波 RC の皆様に感謝も数し上げ、閉会の挨拶といたします。」





18. ロータリーソング：「手に手つないで」

19. 閉会



卓話「無題」 中尾哲雄ガバナー（富山西 RC）

中尾ガバナー：このクラブでは、津田パストガバナーや横山豊介先生など大先輩がおられ、その前で話をするのを恐

縮します。さて、私の弟は、砺波警察署長で最後終わりましたが、砺波という所はいい所で、犯罪が少ない、いい人ばかりだと言っていました。

この公式訪問で、26・27番目のクラブ訪問となり、明日は2か所・5つのクラブの訪問を控えています。この合同例会をすることは、お互い交流することで、隣のクラブのやり方がわかるいい機会になります。

私に、ガバナーの仕事が終わったら何をするのですかと聞く人がいます。ガバナーとて、職業人です。ロータリー以外はできないと言うのではなく、仕事をやりながらガバナーをするのではないといけません。誰でもガバナーができないといけません。

砺波の地域は、散居や芸術が豊かな地域を育んでいます。豊かな農村地帯は、心が豊かになります。水がきれいなこともあるでしょう。「森林を守ろう」という気持ちにもなります。余談ですが、水がきれいで酒がうまい、私は「地酒で乾杯をする会」の会長で、日本酒が大好きです。私は「高校再編協議会」の会長もしました。高校生の数が減り、学校も減らさないといけないということで、二上工業を高岡工芸と一緒にし、大沢野工業を富山工業と一緒にする、そして、平高校を廃止にという所で、大反対ができました。郷土芸能を守るところがないといけないという声で、一度踊りを見たら感激しました。小さいからつぶすというのではなく、小さいながらも意味があることを感じました。これは東となみ RC を見ても感じました。

公式訪問で訪れた金沢北 RC では、例会の食事の前に「いただきます」「ごちそうさまでした」挨拶の唱和がありました。また、点鐘でなく、ドラを鳴らします。その間、会長は合唱して、国旗に向い、軽く頭を下げられます。音がやむまで席に座りません。「いただきます」と感謝をするのは当たり前なのに、最近は段々なくなってきました。学校現場で、給食費を払っているのだから、「いただきます」と子供にいわせるなという PTA の父兄がいるそうです。由々しき事態です。私は、先祖代々か

ら、人間は生き物を頂いて生きてきているのを感謝しなければいけないということを子供たちに分かってもらおうと、ファミリーパークに「命の塔」を寄付しました。子供の声の箱があり、家畜を頂いたことを感謝する手紙を書くコーナーもあります。

さて、我が RI 会長、田中作次さんのことも話さないといけません。新潟県栃尾市出身で、貧しい農家の6人兄弟の長男で、小さい頃から街へ野菜を売りに行く仕事を手伝っておられました。中学卒業後、集団就職で、墨田区のガラス工場に就職された経験をお持ちです。私も魚津の貧しい農家の6人兄弟の長男で、野菜を売りに町に行っていた環境が似ており共鳴するところがあります。田中さんのテーマは「Peace Through Service 奉仕を通じて平和を」です。心の平安や家庭の平和が、クラブの平和につながり、それが地域社会の平和に、更には国の平和や世界の平和に結びつくとおっしゃっています。

ロータリーがなぜできたか、ポールハリスは寂しかったからと言われているが、そのベースには友情があります。しかし、その中に職業奉仕、社会奉仕の2大奉仕ができ、そういう心の持ち主の集まりがロータリーになっていきました。それが、RI 会長が変わると、3大奉仕に、最近では4大奉仕、更には5大奉仕と言われている。私は、どんなものにもスクラップ・アンド・ビルドが必要と考えます。

ロータリーや地域社会の中でも、「変えてはいけないもの」に対しては、『寛容さ』が必要です。また、「変えていかなければならないもの」に対しては、『勇気』が必要です。そして、「変えるか、変えないか、考える」時には、『叡智』が必要です。今、地区内に「ロータリーを考える委員会」を立ち上げ、検討を任せています。

私は、これまで一つだけ Change した事柄があります。それは、サンジェゴの国際協議会で、段ボール一杯の記念品等の「お土産」を貰ってきます。私は、協議会で RI 会長エレクトに、記念品のお代は寄付するから、お土産をやめてもらいたいと言ったら、大勢の世界のガバナーエレクトから賛意をもらいました。しかし、今年度はもうすでに発注してあ

るから、次年度の RI 会長に申し送るということになりました。

また、ロータリー用語や四つのテスト、ソングなども、戦前の私が生まれる頃に出来たものが多く、現代人にはわかりにくいです。これらは、わかりやすく、ソングも明るい歌に変えるべきだと思います。

経営の社会では、「国際化」とは国と国の境がなくなっていくことをいいますが、「業際化」という仕事と仕事の境がなくなってきました。ところで、年代のギャップというのが最近激しくなっていますが、「年代際化」という世代と世代の交わりが必要不可欠な事柄ですが、このロータリーはこれをまさに解決しています。年代の溝を埋めるべく、砺波地区のロータリアンは、砺波のために奉仕をして頂きたいものです。

私は、ロータリー歴 39 年ですが、100%皆出席です。海外 51 回のメイキャップを経験し、3 回の卓話をしました。ウィーンのクラブにメイキャップした時のことです。3 人の仲間と一緒に行きましたが、当日卓話予定者が交通事故で、これなくなり、ゲストの 3 人にしてもらおうということになり、私がしました。その中で、ヨハン・シュトラウスの「美しき青きドナウ」の曲があるが、決してドナウ河はきれいではないですね、と言ったら、後でその会長は、「美しき青きドナウ」はドナウ河のことを言っていない、ドナウ地方のことだと言われました。なるほどと思ったそのあとで、しかし、ドナウ河も恋に陥った盲目の二人には青く見える事もあるそうだと付け加えられました。

さて、最後に、11 月 10—11 日地区大会で、友人の熊本県知事樺島さんと、伊那食品の塚越さんをお呼びします。樺島さんは、農協職員から、ハーバード大学を出て、東大教授になられ、現在熊本県知事をされています。伊那食品の塚越さんは、48 年連続で、増収増益をされている方です。是非、ためになる話をされますので、お聞き下さい。本日は、御清聴、有難うございました。